

広島市パートナーシップ 宣誓制度

令和3年
1月に開始
しました



どんな制度？

一方又は双方が性的マイノリティであるお二人が、互いを人生のパートナーとし、日常生活において相互に協力し合うことを約束した関係（パートナーシップ）であるという宣誓書を広島市に提出します。広島市はそれを受け取った証として、受領証と受領カードをお二人に交付します。

この制度に法的効力はありませんが、その関係を行政が認知することによって、性的マイノリティに関する社会的理解を促進するとともに、性的マイノリティの方々が安心感を持って生活できる社会が実現することを期待しています。

パートナーシップ宣誓書受領カード

広島市パートナーシップ宣誓の取扱いに関する要綱の規定に基づき、パートナーシップ宣誓書を受領したことを証します。

宣誓者		
【本人】		【パートナー】
氏名		氏名
(年 月 日生)		(年 月 日生)
住所		住所
宣誓日	年 月 日	
交付番号		広島市長 印

宣誓の要件は？

受領証や受領カードは、市長に対してパートナーシップの宣誓を行ったお二人が、下記の事項に該当すると認めた場合に交付されます。

- いずれか一方が市内に住所を有している
- 成年に達している
- 配偶者（事実上の婚姻関係を含む）がいない
- 宣誓をしようとする相手以外と宣誓していない
- 二人の関係が直系血族、三親等内の傍系血族または直系姻族でない（養子縁組を除く）

宣誓するには？

宣誓を希望される方は、宣誓予定日の原則一週間前までに下記問い合わせ先に電話、FAXまたはEメールで日時の予約をしてください。

詳しくは、広島市のホームページをご覧ください。宣誓の流れの詳細を説明した「広島市パートナーシップ宣誓制度利用の手引き」などの資料を掲載しています。



広島市パートナーシップ宣誓制度

検索



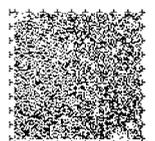
問い合わせ先

広島市市民局人権啓発部人権啓発課

(〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号)

TEL：082-504-2165 FAX：082-504-2609

E-mail：jinken@city.hiroshima.lg.jp



音声コード Uni-Voice

性的マイノリティって？

性的マイノリティ（性的少数者）とは、LGBTを含む、性的指向・性自認のあり方が少数派の方々です。

性的指向

恋愛の対象がどこに向かっているか、どのような性別の人を好きになるかを言います。具体的には、異性愛、同性愛、男女両方に向かう両性愛などがあります。



性自認

自分の性をどのように認識しているのかを言い、「こころの性」と呼ばれることもあります。こころの性は、からだの性（＝生物学的な性）と一致しない人や、男と女の真ん中あたりだと認識する人、男か女が決められない、決めたくない人など、様々な人がいます。

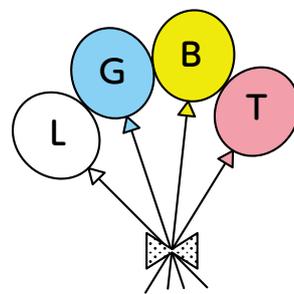


LGBTを知っていますか？

「LGBT」という言葉を聞いたことがありますか？「LGBT」とは一般的に、次のことを指しています。

- L：レズビアン（女性の同性愛者）
- G：ゲイ（男性の同性愛者）
- B：バイセクシュアル（両性愛者）
- T：トランスジェンダー（からだの性とこころの性が異なる人）

性的マイノリティには、LGBT以外にも、「Q：クエスチョニング（自分自身の性を決められない、決めたくない人）」や男女どちらにも恋愛感情を抱かない人など多様な人がいます。



もしもカミングアウトされたら…

カミングアウトとは、自分が性的マイノリティであることを自分の意志で他の人に伝えることです。カミングアウトされたということは、あなたを信頼しているからです。そしてこれからも関係を続けていきたいからです。

まずは、受容的な態度で受け止めましょう。「大切なことを伝えてくれてありがとう」「何かできることがありますか」などと声をかけると良いかもしれません。また、アウティングにならないようにどこまで伝えていいかを確認しましょう。



アウティングは許されない行為です

本人の許可なくその人の性的指向や性自認を第三者に伝えることをアウティングと言います。アウティングは人格権やプライバシー権を著しく侵害する許されない行為です。

私たちが今日からできること

身近に性的マイノリティの方がいなくても、いると想定して行動してみましょう。

- ・「オカマ」「ホモ」「レズ」といった侮辱的なことばや「気持ち悪い」「異常」といった性的マイノリティの方々を見下した不用意な発言は、当事者や当事者の友人・家族も傷つけます。また、これらの発言を聞いたら一緒に笑うといった同調をしないようにしましょう。
- ・異性のパートナー等を前提とした表現は使わないようにしましょう。
- ・性の多様性に関する本などで、自分自身を含む性のあり方について理解したり、家族や友人と話し合ったりする機会を持ってみましょう。

